

平成28年1月定例教育委員会会議録

日 時	平成28年1月15日（金） 午後1時30分～午後3時00分
場 所	秦野市役所西庁舎3階会議室
出席委員	委員長 望月 國男 委員長職務代理者 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 片山 恵一 教育長 内田 賢司
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 水野 和成 生涯学習課長 佐藤 正男 教育部参事 鈴木 健次 図書館館長 石井 勇次 教育総務課長 山口 均 教育総務課課長代理（庶務担当） 鈴木 利昭 学校教育課長 片野 新治 教育総務課庶務班主任主事 水野 統之 教育指導課長兼 教育研究所長 柏木 荘一
傍聴者	3名
会議次第	<p style="text-align: center;">1 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議</p> <p>日 時 平成28年1月15日（金） 午後1時30分</p> <p>場 所 秦野市役所西庁舎3階会議室</p> <p style="text-align: center;">次 第</p> <p>1 開 会</p> <p>2 会議録の承認</p> <p>3 教育長報告及び提案</p> <p>（1）平成28年「教育長年頭あいさつ」について</p> <p>（2）平成28年2月の開催行事等について</p> <p>（3）臨時代理の報告について</p> <p style="padding-left: 2em;">ア 報告第1号 平成27年度教育功労者等表彰・教育長表彰の被表彰者の追加について</p> <p style="padding-left: 2em;">イ 報告第2号 平成28年度管理職候補者の推薦について</p> <p>（4）子ども等に関する事案について</p> <p>（5）平成27年度「学校生活全般における体罰の実態把握に関する調査（市町村立学校）」の実施について</p> <p>（6）平成28年度以降の教職経験者研修について</p>

	<p>(7) 文化財防火デーに伴う消防訓練について</p> <p>(8) 展示会「絵本で知る世界の国々」について</p> <p>4 議 案</p> <p>(1) 議案第1号 秦野市公立幼稚園運営・配置実施計画について</p> <p>5 協議事項</p> <p>(1) 平成28年度秦野市一般会計（教育費）予算（案）について</p> <p>6 その他</p> <p>(1) 平成28年度教育委員会会議日程について</p> <p>(2) DVD「二宮尊親物語」の活用について</p> <p>7 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

望月委員長

それでは、ただいまから1月の定例教育委員会会議を開催いたします。

お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

まず、「会議録の承認」について、ご意見、ご質問がございましたらお願いします。

—特になし—

望月委員長

ないようですので、会議録を承認します。

次に、「3 教育長報告及び提案」の「(3) 臨時代理の報告について」、「イ 報告第2号 平成28年度管理職候補者の推薦について」及び「(4) 子ども等に関する事案について」は、非公開情報等が含まれているので、秘密会での報告としてよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

よって、3、(3)のイ及び(4)は秘密会といたします。

それでは、「教育長報告及び提案」についてお願いいたします。

教育指導課長

28年度の「教育長年頭あいさつ」についてでございます。

1月8日の始業式、秦野市内の公立幼稚園、こども園、小中学校全職員に、この挨拶文を渡しました。内容につきましては、市制70周年を迎える第一歩の年であるということ、干支にまつわる内容、ノーベル医学・生理学賞を受賞されました大村先生の話を引き合いに出して作成いたしました。ご覧いただければと思います。

以上です。

教育長

それでは、資料のNo.2をご覧いただきたいと思います。28年2月の開催行事等でございます。

まず最初に、2月5日から21日まで、展示会「絵本で知る世

界の国々」ということで、世界37カ国の絵本307冊を国際子ども図書館から借用して展示するというものです。詳細は後ほど図書館長から説明をいたします。

2月5日から25日、特別展示「二宮尊徳と報徳思想」ということです。県立図書館が所蔵しています報徳コレクションをお借りして展示するという形で、これも図書館でございます。

2月5日金曜日、理科教育研修講座ということで、JAXA宇宙教育センターから講師をお呼びして、教員を対象に研修を実施いたします。

2月9日と23日が例月のブックスタートでございます。

2月9日、定例教育委員会会議をいたします。今回は会場が変更になりましたので、本庁舎の3階の講堂を予定しております。

翌2月10日ですが、第6回園長・校長会は、毎年、クリーンセンター会議室をお借りして実施しております。

2月10日から8月7日までの6カ月間ですが、宮永岳彦記念美術館企画展ということで、今回は「宮永岳彦 和の世界」と題して実施をいたします。

同じく2月10日でございます。いじめ問題対策調査委員会、本庁舎の3A会議室を利用して行います。

裏面をご覧くださいと思います。

2月13日、14日、本町公民館発表会ということで、ほかの公民館では公民館まつりと言っておりますが、本町公民館は発表会という形で実施をいたします。

17日から19日、図書館資料リユースということで、除籍した本・雑誌を、学校、公共施設、福祉施設等の団体に提供するというで実施をいたします。

2月20日、報徳仕法を広める講演会ということで、二宮総本家当主の二宮さんを講師に招いて講演会を開催いたします。図書館の視聴覚室でございます。

2月20日から21日、鶴巻公民館まつりです。鶴巻公民館が会場でございます。

同じく2月20日、宮永岳彦記念美術館のギャラリーコンサートです。展示会にあわせまして、ギャラリートークとコンサートを開催いたします。

23日は定例記者会見です。

2月24日は、南中学校の体育館で、ウイズユー講演会ということで、記載したとおりでございます。ハープ奏者の永山友美子さんが、アイリッシュハープの演奏とともに、「愛と優しさで人

教育総務課長

は育つ」をテーマに講演されます。

2月24日は、第3回総合教育会議を予定しております。

2月25日から3月24日まで、秦野市議会の第1回定例会で
ございます。

それから、次の面をご覧ください。

2月26日、家庭教育支援講演会は、みなみがおか幼稚園の遊
戯室を会場に、家庭教育の向上を図るため、幼稚園と共催しまし
て、保護者を対象に実施いたします。

2月27日、ふるさと講座「丹沢の生きものたち」ということ
で、今回が最終回でございますが、保健福祉センターです。

27日は、清水真砂子氏講演会「子どもの本の持つ力」という
ことで、図書館の視聴覚室を会場に実施いたします。

私からは以上でございますが、次からは課長から説明をさせま
す。

以上です。

私からは、「(3) 臨時代理の報告について」のアの被表彰者
の追加について、ご説明をさせていただきます。資料3をご覧
ください。

臨時代理ということで、教育委員会の事務の一部を、教育長が
臨時代理をしたというものの報告でございます。

おめくりをいただきまして、「臨時代理書」がございます。提
案理由のところがございますが、昨年11月に開催しました定例
教育委員会会議以降、教育功労者等表彰及び教育長表彰の被表彰
者の追加の具申がございました。これについて臨時代理を行った
ものでございます。

おめくりをいただいて、横長の一覧がついてございます。

まず、27年度の教育功労者等表彰候補者でございます。

表彰の部の個人でございます。学術の部で、絵画でございます。
全国大会の絵画で2位相当ということでございます。

スポーツは3名でございます。スポーツチャンバラの世界大会
で3位という方と、ボウリング、ソフトテニス、それぞれ県下の
大会において1位だった方でございます。

感謝状の対象でございます。奉仕ということで、多年にわたっ
て学校のボランティア活動にご協力をいただいたものです。

おめくりをいただきまして、教育長表彰の候補者でございます。

まず、個人の部で、学術で5名でございます。硬筆コンクール、
国で1位相当ということでございます。2番から5番までの方は
県の大会でございます。福祉作文コンクール、創意くふう展覧会、

絵画と作文コンクールで、それぞれ県の1位相当というふうなことでございます。

スポーツは7名でございます。1番から4番までの方は全国レベルの大会ということで、体操、スポーツチャンバラのほうで、それぞれ3位以上の成績ということでございます。5番から7番の方については県の大会で、スポーツチャンバラ、空手で、それぞれ県の1位になったということです。

団体の部では、学術の関係で2件です。大根小学校は、野生生物の保護、そういったものの全国の3位相当を受賞されました。東中学校は、学校新聞コンクールの中で最優秀になったということでございます。

功労者表彰につきましては、全体で53名の方になります。昨年在78名ですので、功労者については前年に比べて全体で25人減ります。教育長表彰につきましては、全体で40名でございます。前回は30名ですので、教育長表彰のほうは逆に10名ほど増えるということでございます。

1月16日に表彰式を行います。9時半から教育長表彰、1時から教育委員会表彰、それぞれ、総合体育館、武道場のほうで行います。教育委員の皆さんには、1時からの教育委員会表彰のほうに出席をいただいております。よろしくお願ひします。引き続き、はだのっ子アワードの表彰式を15時から同じ総合体育館のほうで実施します。

私のほうからは以上です。

教育指導課長

それでは、3の(5)、平成27年度の体罰調査についてでございます。

まず、お手元の資料の11ページをご覧くださいませでしょうか。

今年度の体罰調査につきまして、基本的には昨年度同様に進めていきたいと考えております。

(1)、県がつくった質問紙及び回答用紙の原案から一部修正して、わかりやすいような質問項目にして、保護者、生徒・児童に配っていきたいと考えております。

なお、昨年度と質問が若干変わっております。2点ばかり割愛されています。

具体的に申しますと、質問の一つ、体罰を受けてどのような影響があったかという点と、体罰を受けてどうしたかという、この2点については割愛されています。割愛された理由につきましては、事案については詳しく聞き取るので、そこで聞き取ったほう

がよろしいのではないかという発想のもと、割愛されているようです。

回答用紙については、これまでよりもわかりやすいものになっているように思います。

(2) につきましては、本年度も、投函、郵送によって教育委員会へ送るという体制をつくっております。

(3)、教職員に対しましては、ヒアリングまたは質問紙によって全職員から確認をする。

大きな2番、日程につきましては、このとおり、中事務所へは2月26日に提出になっております。あとはご覧いただければと思います。

続きまして、資料No.6、平成28年度以降の教職経験者研修につきまして、まず裏面の表をご覧いただいたほうがわかりやすいのではないかと思います。2点ございます。

まず一点目、28年度は秦野市主催の4年次研修を新規に実施ということです。これに関しましては、平成25年度から、神奈川県が1年経験者研修を新たに導入しました。それに伴いまして、26年度から、同じような内容をやっている市の2年次研修を廃止し、そのかわり、この2年次研修を受ける予定だった教職員が4年目を迎えるときに、新たに28年度から4年次研修を受けよということが、25年度末の教育委員会会議及び園長・校長会で確認されたところです。つきましては、この4年次研修を28年度から始めますが、内容につきましては、ICTを活用した内容に特化した研修を考えております。

それともう一点ですが、市主催の10年経験者研修につきまして、こちらは、従来、2日間の異校種間交流、中学校の先生が幼稚園もしくは小学校に2日間行くという内容でした。10年次というと、学校においても中堅的な職員が2日間出るとするのは、なかなか学校も厳しいところがあることも聞いておりますので、28年度からは、2日間のうち1日を、不登校支援への理解を深めることを目的としまして、教育支援教室いずみにおける半日の研修に変えていきたいと考えております。

もう一つ、従来、この10年次研修の中で、市教委が行っている人権研修会の受講を必須としていましたが、こちらにつきましては、県が実施する基本研修における選択研修等による受講を希望することができるということもありまして、必須から削除という形で対応していきたいと考えております。

私からは以上です。

生涯学習課長

資料7の文化財防火デーに伴う消防訓練をご説明します。

毎年1月26日は文化財防火デーです。この制定は、昭和24年1月26日に、奈良県斑鳩町の世界最古の木造建造物である法隆寺金堂から出火し、国宝の12面壁面の大半が焼損したことを契機としています。国民に強い衝撃を与えたこの火災から、災害などによる文化財保護の危機を深く憂慮する国民世論が高まり、翌年には文化財保護法が制定され、さらに昭和30年には法隆寺金堂が焼損した日を文化財防火デーと定め、全国的に文化財保護運動が展開されています。

なお、本市においても、平成11年から毎年、この文化財防火デーにあわせ、文化財所有者の理解を得た中で、地域住民、それから消防関係者などと連携しまして、文化財建造物の消防訓練に取り組んでいます。

今年度は、資料のとおり1月27日の午前10時から、戸川地区の寶泉院で消防訓練を実施します。寶泉院には14世紀末の制作と伝えられる木造大日如来座像が安置されていますが、平成2年4月に市の重要文化財に指定しています。当日は、文化財所有者の寶泉院関係者、地元自治会を初め、消防関係者、北幼稚園や西湘秦野保育園の園児など約70人の参加を予定しています。特に、園児には幼児期からの防火教育として参加を依頼しています。

訓練内容は、119番通報、ダミーの文化財持ち出し、消防車による放水訓練、消火器取り扱い訓練などを行います。

以上でございます。

図書館長

私からは、次第の「展示会『絵本で知る世界の国々』について」を、資料No.8でご説明いたします。

展示会「絵本で知る世界の国々」につきましては、国立国会図書館国際子ども図書館から、世界37カ国の307冊の絵本をお借りいたしまして、実際に手にとることができるものです。本に触れることによって絵本に親しんだり、世界の暮らし、文化に触れてもらうことを目的に開催いたします。

今回は、2月5日金曜日から2月21日日曜日、午前9時から午後5時、2階会議室で開催をいたします。開催に当たりまして、図書館にも協力いただいておりますボランティア団体の協力をいただいで実施いたします。

この絵本展につきましては、県内では鎌倉に次いで2番目の開催になります。国立国会図書館国際子ども図書館では、年を前期と後期に分けて実施しています。秦野市も以前から手を挙げまして、今回実施の運びとなりました。

委員の皆様には以前お渡ししてあると思いますが、展示会では冊子を、来られた方にお配りをしまして、いろいろな本について見ていただきたいと思います。図書館からは以上になります。

望月委員長 それでは、「教育長報告及び提案」についてですが、今日は割合少ないので、一括して質問なりご意見を受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

高橋委員 わかったら結構なんですけれども、2月20日に予定されています報徳仕法を広める講演会の二宮総本家当主というのは、二宮尊徳の家系とどういうふうなつながりがあるのでしょうか。総本家というのは初めて耳にする言葉なので。

生涯学習課長 報徳仕法を広める講演会については、次回の会議で報告しますが、今日の段階では二宮総本家について説明する資料を持ち合わせていません。講師を依頼した際に、二宮康裕さんから総本家当主との呼称を受けていますが、家系の部分が確認できていないので、次回までにはきちんとお伝えしようと思っています。

望月委員長 なかなか難しいですね。

生涯学習課長 では、次回までお願いします。

望月委員長 次回まで、調べてご説明します。

飯田委員 ほかにいかがでしょうか。

教育指導課長 体罰の案件なんですけど、秦野市は市立の幼稚園じゃないですか。幼稚園に対して、こういうアンケートをやってくれという保護者からの意見はあるのかなど。

飯田委員 ないですね。

教育指導課長 小中ですか。

飯田委員 そうですね。

飯田委員 わかりました。

望月委員長 もう一点いいですか。

飯田委員 どうぞ。

教育指導課長 教職員の研修なんですけど、体罰についての勉強会、そういった研修というのは、どこかでやる時間はとっていらっしゃいますか。

飯田委員 例えば、新採用の先生方に対しましては、夏休みに2日間、宿泊の研修をやっていきますけれども、その中で、教育部参事から、服務に関して、体罰も交えた話をしてもらっております。

飯田委員 それは、体罰の防止のガイドラインを基本にしての。

教育指導課長 神奈川県から体罰防止ガイドラインというものが出ていますが、ベースになるのはこちらだと思います。

飯田委員
望月委員長
片山委員

ありがとうございます。

ほかにどうですか。

体罰のところなんですけれども、小学校、中学校が同じ書面だ
と思うんですけれども、上に全部振り仮名が振ってあるというの
は、中学校の子には必要ないと思うのですが、これは外国人の
親のためなのでしょうか。

教育指導課長

片山委員のおっしゃったように、秦野市には外国語の方もたく
さんいます。そういったことを見据えて、振り仮名を振っており
ます。

片山委員

細かいことなのですが、13ページに依頼文があるのですが、
読んでいて、「留意点」というところの2番なのですが、「場
合によっては、お話を聞くなど」ではなく「聞かせていただく」
というふうに、謙譲するような言葉のほうがよろしいのではない
かという気がしたものですから。

あと、これに関してもう一つ。13ページの文章を見ると「保護
者の皆様へ」と書いてあるのです。例えば、「留意点」の1のと
ころの2行目にまた「保護者の皆様は」と書いてあったりするの
ですが、私は読んでいて違和感があったわけなんです。文章的
には全然問題ないと思うのですが。「保護者の皆様へ」の書面
なのに、また「保護者の皆様」と書くのは、問題ないとは思っ
てますが、「あれ？」と思って。「保護者の皆様へ」というのは
裏面にもありますので、要らないのではないかなと。

望月委員長

なかなか、担当になると細かいことに気がつかないのですが、
今の指摘はいいことだと思うのです。それによって、「ああ、そ
うだったな」ということで、いろいろなことに気がついたりしま
すので。

望月委員長
高橋委員

ほかにどうですか。

やはり体罰のことなんですけれども、14ページに、「どのよ
うな行為を『体罰』とするかについては、文部科学省から」と書
いてありますよね。この内容というのが、その前にも出てきてい
る25文科初第1269号の内容と違っていいですね。

教育指導課長
高橋委員

はい。

わかりました。

あと1点なのですが、以前、体罰のときに、先生が生徒をつ
ねって体罰になった案件があったように記憶しているのですが、
「体罰の態様」のところで見ると、「つねる」は入っていません
よね。「その他」というのは、結局、「有形力の行使により」だ
から、つねるはいいんですか。

教育指導課長

一例として出ているわけなんですけれども、有形力の行使は全て体罰に当たるということで、つねるといっても明らかな体罰に当たると思います。

高橋委員

入るということですか。

教育指導課長

はい。要するに、全てを書き出すのはということで、一例として書いてあると思います。

望月委員長

よろしいですか。

高橋委員

はい。

望月委員長

教育長表彰のところで、学術関係でNo.2の鈴木華純さん、それから、学術表彰の団体で大根小学校愛鳥委員会、大変おめでたいことなのですが、鈴木さんの場合は、どういう内容で、どんなことが評価されたのか、もしご存じであれば教えていただきたいと思います。

それから、大根小学校愛鳥委員会のほうです。秦野市は非常に昔から熱心で、多くの学校が林野庁の長官賞を受賞しているんですけれども、今回はどのようなことが特長かということをおわかりであれば教えていただきたいと思うのですが。

教育総務課長

まず、教育長表彰の学術の2番目の鈴木華純さん、大根中学校の3年生でございます。福祉作文コンクールということで、「命の対話」という、長文ではなくて、1,000字か1,200字ぐらいの作文でございます。ひいおばあちゃんが福祉施設に入所されている。認知症ということで、だんだん、記憶というか、コミュニケーションがなかなかとれなくなってきている。そういった中で、ご病気で入院されたときに、お見舞いに行ったとき、なかなか言葉も通じない中で、「おばあちゃん」と投げかけたらほほ笑んでいた。そういったきっかけの中で、認知症が進んで会話ができなくても心は通じる、頭だけではなくて、心で感じるものだということで、そういう観点から、命の対話をしていこうと。時間を見つけて、ひいおばあちゃんのところにまた会いに行つて命の対話をしたい、そのような作文でございます。

団体は、学術の大根小学校愛鳥委員会でございます。これは林野庁の長官賞ということです。

秦野の場合は、2年間、2校ずつ、愛鳥モデル校を指定をさせていただいています。

大根小学校については、23年に愛鳥モデル校は終わったわけなんですけれども、愛鳥モデル校になったことをきっかけに、鳥と友達になろうというようなテーマのもとに愛鳥活動をずっと続けてきました。それを環境省の発表会のほうに申し込んで、1次審

望月委員長
教育長

査を通して、全国10校が発表の場に出場して、林野庁長官賞を受賞したという形です。愛鳥モデル校をきっかけに、引き続き長年にわたって、全校を挙げて鳥と友達になろうという取り組みをして、それが評価されたということです。

よかったと思います。我々ともども、お祝いしたいと思います。

大根小学校の子どもたちが3人で報告に来てくれたのです。発表した子どもたちだったのですが。子どもたち自らが先生に対して、「ぜひ、これに出したいんだ」という意思表示をしたそうです。自分たちがやってきたことを自信を持って発表できる、そういう状態になっていまして、大変感心をしております。

望月委員長
教育長

子どもが報告に来たんですか。

子どもが、直接私に、こういうもので行ってきましたと報告に来ました。

片山委員
教育長

何年生ですか。

6年生です。自分たちがやってきたことに非常に自信を持っていました。

望月委員長

子どものほうから報告するのはすごいですね。

図書館長、1つよろしいですか。

私は、この正月に、宮永岳彦記念美術館で浮世絵展がありましたので、見に行ってきたのです。それで、大変勉強になったんですけども、「こういうことは見る人にとっていいんだな」ということがあったのです。

それは、浮世絵とはどういうものなのかとか特徴とか、その他いろいろ説明したものが展示されたりしているのです。それを見ると、「浮世絵というのはこういうものなのか」とより理解も深まり、理解が深まった段階でずっと回ってみると、またその浮世絵を見る視点がちょっと違ってきたりしたのです。

ですから、今回の絵本も、例えば、絵本とは何なのか、あるいは、全部は無理かもしれないんですけども、展示する世界の国それぞれの絵本の特徴とか、その他、見に来る人たちにとって役に立つような展示などをする計画はありますか。

図書館長

今回は、海外の絵本307冊を、図書館の会議室で、実際に本に触れるということが一番のポイントになります。委員長ご存じのように、図書館にも、いろいろな海外の絵本が翻訳されたり、海外の原語で書かれた本もございます。そうした中で、海外の絵本といっても限られた部分ではありますので、海外の作者の絵本を日本の訳者が訳した絵本もあります。今回は海外の絵本そのものがありますので、これを契機に、まだ図書館でも借りられてい

ない絵本もありますので、そうしたものを利用したり、また、図書館でも、赤ちゃん向け、児童向け、子ども向け、いろいろな本の読み聞かせをやっておりますので、これを読書活動につなげたいと考えております。

基本的に、図書館では、本に親しんでもらいたい。それは絵本がきっかけであっても構わないのですが、そういうものからもう少し広げれば、海外に目を向けていただきたい。これから子どもたちが育つ時代というのは、国際化は当然だと思います。そういう中で、海外についても興味を持って、できれば、「じゃあ、自分も、そういう仕事を含めて、いろいろなものをやってみたい」、そうしたきっかけが一冊の本から始まれば、素晴らしいと思っております。今回の絵本は海外のものですが、今後とも、今、委員長言われましたように、いろんな絵本をPRできればと思っております。

望月委員長

よろしく申し上げます。私も、いいアイデアじゃないかと思えます。

飯田委員

ほかにどうでしょうか。

絵本の展示会のチラシというのは、どういうところで配布されているのですか。

図書館長

このチラシにつきましては、既に、公民館、学校にも張り出しを依頼をしております。これから園長・校長会もありますので、そういう場でもPRをして、ぜひ図書館に足を運んでいただければありがたいと考えております。

飯田委員

ありがとうございます。

望月委員長

ほかにどうですか。

ー特になしー

望月委員長

それでは、ないようですので、次に、議案に入りたいと思えます。

教育総務課長

「議案第1号 秦野市公立幼稚園運営・配置実施計画について」の説明をお願いいたします。

それでは、「議案第1号 秦野市公立幼稚園運営・配置実施計画について」、別紙のとおり、策定に当たりまして、ご説明をさせていただきます。

提案理由にございますが、園児数の減少に伴う集団性の確保、保育ニーズの充足、そういった観点から必要な対策を講じまして、地域の子育て支援の核となる公立幼稚園とするために、一昨年9月に、あり方検討委員会の提言を踏まえまして、本日、本計画の策定について提案をするものでございます。

これについては、11月の教育委員会会議に協議事項として上げさせていただいて、その後、11月から12月にかけて、市民意見、パブリックコメントを実施いたしました。意見を反映した中で策定をしたものでございます。

細かい部分、例えば、「ステーション園」という表現があったのを、「幾つかの拠点園で」というふうなわかりやすい表現に何点かは変えてございますが、基本的な内容については大きな変更はございません。

実際の実施計画の中身でございますが、11ページの基本方針に伴って実施をしていくものでございます。

基本方針1については、公立幼稚園の配置の見直しということで、裏面に一覧表がございますけれども、特に、集団性の確保、そういったところを見据えて、今後、1学年1学級、2学級あっても1学級の人数が25人を下回るような場合は、近隣小学校または他の幼稚園への施設統合ですとか、こども園化を含めた民間への移行、こういった対応を検討していくことが明記されてございます。

具体的に、今後5年間、優先的に取り組む具体的なものとして、上幼稚園につきましては小学校への施設統合、みなみがおか幼稚園については公私連携によるこども園化、その他の園については、先ほど申しましたように、1学年1学級もしくは1学級25人を下回るような状況が続く場合には、施設統合ですとか民間法人への移行を検討していく方針でございます。

おめくりいただきまして、14ページの「利用者負担の見直し」についてでございます。これについては、幼稚園児の保育料については、基本的に、幼稚園費の3分の1を保育料としていただく、利用者の負担としていくということでございました。今現在、4分の1以下になるという状況もございますので、従来入れてございました修繕費ですとか光熱水費ですとか、そういった経費を含めて、建築費や統合教育の人件費を除いた部分の3分の1にしていくということで、月額8,800円の保育料を29年度から9,800円に改定をしていくということ。

それとあわせて、14ページの表がございます。8区分になってございます。①から⑦は、所得が低い部分、今まで減免制度で対応していた部分を、前は5区分に分けてございましたが、今回は8区分にしました。生活困窮世帯ですとか多子世帯等の負担を軽減ということで、より拡充した上で、8区分に保育料を分けまして、改定の案とさせていただきます。

15ページは、「公立幼稚園における子育て支援策の拡充」ということで、幼稚園型の一時預かり事業、新たな国の子ども・子育て支援制度のメニューにのりまして、幼稚園型の一時預かり事業を新たに実施していくということです。これについては28年度からの実施を考えてございます。

内容については、15ページの下に書いてあるとおりでございます。

実行計画でございますので、これを実行していくわけですが、それに当たっては、本年度中に策定します「はだのわくわく教育プラン」と総合計画後期基本計画、これに位置づけを行いまして実施していくということです。

また、保育料の改定については、本市の保育料徴収条例の一部改正を、3月議会、本年度の第1回定例議会に上程していくこととなります。

次回の教育委員会会議の際には、その条例の改正案について、またご審議をいただく予定でございます。

以上でございます。

何かご質問、ご意見はございますか。

15ページの18時というのは、利用者の方からは18時でいいよということなのではないでしょうか。もっと長いほうを希望されるのかなと思ったので。

従来、この預かり事業は、保護者が中心になって、運営委員会という形で、市が直接運営にかかわらないような形で実施をしてきました。その際は17時まででございました。今回は、本格的な就労ではなくても、短期間の就業を見越した中で、17時ですと少し早いだらうということで、検討して18時にしております。それ以上長く、19時とかになると本格的な就労というふうになるでしょうから、そうしますと、今度は、幼稚園ではなくて、こども園なり保育園という幼児施設のほうにというふうな話で、あくまでも幼稚園の部分の範囲で、保護者の方のリフレッシュですとかパートタイム的な就労、そういったニーズに合わせて18時という形にさせていただきました。

これは、一律、いわゆる秦野市の公立幼稚園は全部この料金でいくわけですね。

はい。全部の幼稚園でこの時間にやっていく。従来は園ごとにやっていたので、週3回とか夏休みはやらないだとかということがありましたけれども、今度は全部の園で、ここに書いてあるように、月曜日から金曜日、長期休業期間も含めて実施をして

望月委員長
片山委員

教育総務課長

望月委員長

教育総務課長

望月委員長

いくという形でございます。

それから、保育料ですが、現額が8,800円で、29年に9,800円、一遍に1,000円ということですよ。そこに「建物の減価償却費を加えた額を算定」と書いてあるのですが、今までこのようなことでアップを検討してきたのでしょうか。

教育総務課長

今までは、いわゆる保育料の算定基礎に、そういったものは加えてございません。人件費を中心に考えていました。建物の修繕ですとか光熱水費だとかというもの、あと減価償却費も含めてですけれども、入れてございませんでした。ご承知のとおり、どの園も老朽化をしているということで、幼稚園費の3分の1という規定にはしてあるんですけれども、現実的には4分の1以下になるという状況の中で、一昨年9月に、あり方検討委員会の中でそういうご議論をいただいて、建設費は除く、あと統合の関係の人件費も除く、それ以外を含めた3分の1ということで、実は、資料はありませんけれども、前は平成11年に8,800円に改定をしました。

望月委員長

平成11年ですか。

教育総務課長

11年です。ということで、実際は29年改定になりますので、18年間改定がなかったということで、算定基準もあわせて見直しをさせていただいたということです。

望月委員長

かつて、秦野は、幼稚園教育に力を入れて、月謝も非常に安い、だから、他の市町村からわざわざ来て秦野に住むような傾向があったわけです。この9,800円というのは、本市は本市なりの計算方式で、あり方検の提言も参考にしながら、こういう額になってきたと思うのですが、他の市町村と比べると、例えば、この近隣の平塚とかと比べると、その辺はどうなんですか。

教育総務課長

公立というお話だと思いますけれども、近隣ですと、南足柄市、小田原市、平塚市あたりが公立の幼稚園を持ってございます。例えば、小田原市のように、民間と同じ値段にしているというところもございます。平塚市は、もともと1万円の月謝でしたので、多少上乘せして、料金設定をしております。近隣ですと、一般的なベースが9,800円というのは、市レベルですと南足柄市が低いですが、上げて低いほうといえますか。

望月委員長

ほかにどうでしょうか。それでは「議案第1号 秦野市公立幼稚園運営・配置実施計画について」を原案どおり可決してよろしいでしょうか。

—異議なし—

望月委員長

よって、「議案第1号 秦野市公立幼稚園運営・配置実施計画

教育総務課長

について」は原案のとおり可決しました。次に協議事項に入ります。

協議事項「(1)平成28年度秦野市一般会計(教育費)予算(案)について」の説明をお願いいたします。

それでは、平成28年度の教育費の予算案について、ご説明をさせていただきます。

「協議事項(1)」と右上に書いてある横長の一覧表をご覧ください。

前回の12月の教育委員会会議の際にもお話をさせていただいているのですが、表の2番目に「28年度当初要求額B」と書いてございますが、22億9,449万2,000円ということで、27年度に比べて1億900万、率にして約5%増加ということをご報告させていただいて、前回は、これで年明けに財政サイドから示達というものが来るというお話をさせていただきました。

Dの欄でございますが、右側に「示達額」ということで、1月4日に財政サイドから示達が来たものでございます。当初予算要求に比べてふえてございますが、2億2,858万8,000円、約10%の減額が提示されてございます。

右側に「削減額」ということで、各課ごとに書いてございます。教育総務課ですが、約7,400万の減ということで、教育総務課の場合は、主に小中学校の施設改修費がございまして、10工事ほどありましたが、3工事はカットされて、残った7工事のほうも1割カットされて、その部分が大きく減額して5,000万程度減額になってございます。

学校教育のほうは2,700万程度のカットでございまして。大きなものとしては、給食室の改修の工事費ですとか小中学校の備品の購入費、そういったものはカットされてございます。

次に、教育指導課でございまして、495万ということで、これについては、パサデナの姉妹都市の派遣事業費が100万ぐらい、それと教育指導助手の2名増員を上げたのですが、それがカットされたということでございます。

生涯学習課は8,739万円ということで、これは、主に公民館の改修事業費7,500万ほど、それがカットされております。

図書館については3,300万ですが、そのうち約3,000万は、窓口業務の委託の拡大に対する委託料のカットを受けたということでございます。

この削減を受けて、通常は、示達の中で調整という部分もあるわけですがけれども、調整し切れない部分については、「復活要求

額」ということでFの欄に書いてございます。

その他のほうは、工事費は10工事、3工事は切られたのですが、全て上げさせていただいています。

大きなところでは、教育指導課は、先ほど、教育指導員2名カットということでしたが、逆に、社会保険料、そういった部分を少し工夫して、全体の経費を減らして2名の増員を要求しています。結果的には、社会保険料のカットが大きかったのでマイナスにはなっていますけれども、その増員分を社会保険料で調整しているということでございます。

そんなことで、示達後の復活要求を含めて21億1,455万3,000円ということで、この復活が全部通ると、当初要求に比べて約1億8,000万、8%弱の減額になるということでございます。

その復活については、来週の月曜日になりますが、18日に、市長査定が予定されていますので、その席でまた市長に説明をして、復活のほうに努めていきたいと考えてございます。

実は、18日の市長査定の際に、今年度から新たにといいますか、それぞれの部の新年度の施策展開のスローガンをまず発表しろということになってございます。教育部としましては、新年度のスローガンとして、「わくわくする学びの創造」ということで、本市の自然ですとか文化ですとか人材ですとか、そういうものを生かしたわくわくした学習環境づくりを進めていきたい、そして、住んでよかった、住みたいということを実感できる秦野づくりに努めていきたい、こういった部分をスローガンとして、先ほど言いました市長査定の冒頭に述べて、復活していく予定になってございます。

教育部の予算の部分については、次回の2月の教育委員会会議の中に最終的には議案として上げさせていただいて、承認をいただいて、今度は全体の予算として市議会のほうに議案として上程されていくという状況になってございます。

最初に言えばよかったのですが、全体としては、最初はマイナス10%という話で来ましたので、結果的には10%という部分もありますけれども、それは工事ですとかそういう部分でございますので、何とか、新規の部分、思っていた部分というのは、もちろん満額ではございませんけれども、「これでは来年度は教育政策の執行ができない」ということはないのではないかと考えております。

以上です。

望月委員長

それでは、ただいまの説明について、ご質問ございますか。

スローガンのわくわくするどうのこうのというのは、予算を獲得するためのスローガンということですか、来年度、この予算のもとで活動を執行するに当たってのスローガンということなのか。

教育部長

今回、市長査定のときに、課長が説明しましたが、経営的な考え方をコンパクトな言葉で表現しろというようなことだと私は理解しております。

そういった中で、今、課長が申しあげましたように、教育プランのほうで「わくわく教育プラン」とつけさせていただきましたので、大人も子どもも、子どもたちを中心に、わくわくする学び合い、そういったものを進めていきたいと考えておまして、新年度の事業の中でも、ICTの推進だとかコミュニティスクールの導入、そういった地域の連携、さらには、ICT環境により学習意欲が高まるような場面を多くつくっていきけるのではないかと考えておまして、そういう表現をしていきたいと思っております。

教育長

市長の考え方は、「市役所を民間会社で言えば、部長職は役員だ。経営側だ。その役員は、自分の部門が1年間の経営方針をどういうふうにしてやるのかということを中心にきちんとして臨みなさい」、こういう考え方なのです。ですから、「自分がその部門の責任者なのだから、責任者としてどうしていくのだということを、はっきりと、明確に答えよ」、こういう前々からの思いがありまして、今回、それをあえて出せということです。

望月委員長

ほかにどうでしょうか。

一特になし一

望月委員長

それでは、18日が復活ですか。そのスローガンのもとで、それぞれの思いを熱っぽく語っていただいて、ぜひまた予算獲得のほうにご尽力いただければと思います。

それでは、もう一つ、「その他」のほうに入ります。「その他」は(1)と(2)とありますが、追加で教育指導課から(3)で要望書があります。

それでは、「その他」の「平成28年度教育委員会会議の日程について」、来年度4月からの日程、教育総務課、お願いします。

教育総務課長

お手元の、右上に「その他1」と書いてございます日程表の案でございます。

来年度4月から3月までの日程でございます。例年、ご承知のとおり、定例の教育委員会会議は毎月第3金曜日に行うということで、基本的にはそのようにさせていただきます。ただ、

5月16日は、本来ですと20日がそれに当たるわけですが、教育委員や教育長の出張等が5月にございますので、その辺を考慮して変更してございます。

あと、9月23日金曜日、これは第4になりますが、9月については、9月の市議会定例会と重なるものですから、第4金曜日のほうに動かさせていただいてございます。

11月も同様に、第3のところを、11月は議案の審議をしていただく可能性がございますので、11月11日、第2金曜日に変更させていただいてございます。

あと、2月も同様でございます。今回と同様に、予算も含めて議決をいただく関係がございますので、本来17日のところを13日の月曜日ということで日程を入れさせていただいてございます。

この日程で予定を確保していただいて、また、いろいろ予定等が入って変更になることもあるとは思いますが、現時点での予定ということで日程のほうを確認していただければと思います。

あともう一点、大きく変わったのは場所でございます。例年、西庁舎3階の会議室でしたが、場所が教育庁舎3階大会議室ということで、来年度からは、今建設中のそちらのほうで教育委員会会議を行っていくということでございます。

以上でございます。

裏面の3に「出張日程」と書いてあるのですが、その(2)の関東地区都市教育長協議会が埼玉県熊谷市になっていますが、熊谷市は当番会長で、会場はさいたま市です。

熊谷ではなくて、さいたま市。

さいたま市が会場になります。熊谷は当番会長さんです。

では、いいですか。大体それでいくのですが、若干変更の部分が出てくるかもしれない。

それでは、次に移ります。

次に、(2)の「DVD『二宮尊親物語』の活用について」。

昨年10月10日に、教育委員の皆さんには社会教育委員とともに全国報徳サミット豊頃町大会に参加していただきましたが、この大会参加者は500人のうち、80人を超える秦野市民が参加しました。大会後、豊頃町長から秦野市に対して、何らかの形でお礼をしたいとの申し出をいただきました。

その中で、町長からは、大会にあわせて制作された啓発用DVD、皆さんも大会会場でご覧いただいたかもしれませんが、この

教育長

望月委員長

教育長

望月委員長

生涯学習課長

DVDを子どもたちの報徳学習に活用してほしいという形で送られてきました。

DVDの内容は、二宮尊徳の孫で、豊頃町開拓の祖と言われている二宮尊親の足跡を紹介するとともに報徳仕法について説明している、約40分に編集されたものです。既に、報徳学習に活用するよう市内小中学校に配布しましたので、ご報告させていただきます。以上です。

望月委員長
生涯学習課長
望月委員長

去年は参加が500人ですか。

そうです。500人余りということでした。

私もこれを家で見てもみたのですが、尊徳のほうがたくさん載っていて、尊親が少ないかなというようなことを思ったのですが。

豊頃町のほうには、秦野市が各小中学校にこのDVDを贈ったというようなことは知らせたのですか。

生涯学習課長

今回のことは、当初事務局レベルではやりとりした中でDVDという話が出て、最終的に豊頃町長が、ぜひ学校での学習に役立ててほしいということになりました。豊頃町には、私から礼状とともに活用について報告しています。

望月委員長

喜んでいきますよね、豊頃町も。ありがとうございます。

ほかにどうですか。

—特になし—

望月委員長
教育指導課長

それでは、次に教育指導課長。

机上に「教科書採択をめぐる動きについての要望書」が配られていると思います。

1月13日付で、子どもと教科書・さがみ野代表、古尾谷久美子様より、この要望書が提出されました。

要望内容につきましては、これまで、歴史の教科用図書採択についての質問状や要望書等が来たわけですがけれども、教育委員会はいくまでも毅然とした態度で対応してくれというような内容になっておりますので、報告をいたします。

以上です。

望月委員長

これについて、何か質問ありますか。

—特になし—

望月委員長

それでは、秘密会の前に次回の日程調整をお願いします。

—次回の日程調整—

望月委員長

それでは秘密会としますので、関係者以外の退席を求めます。

—関係者以外退席—

[削除]

望月委員長

以上で1月の定例教育委員会会議は終わります。

